

各 位



平成 20 年 4 月 18 日

不二製油株式会社
(コード:2607 東証・大証第一部)
大阪府泉佐野市住吉町1番地
代表取締役社長 海老原 善隆

株式会社 J-オイルミルズ
(コード:2613 東証・大証第一部)
東京都中央区明石町8番1号
代表取締役社長 佐々木 農二

不二製油株式会社と株式会社 J-オイルミルズの業務提携に関する具体的内容について

不二製油株式会社（以下、「不二製油」といいます）と株式会社 J-オイルミルズ（以下、「J-オイルミルズ」といいます）とは、昨年9月7日に発表した業務提携における相互協力関係について、検討委員会を設け協議してまいりましたが、検討の結果につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業務提携の具体的内容

- ① 原料・資材の効率的調達
 - ・ 南方系油脂の強い不二製油、大豆油・菜種油等中性油原料に強い J-オイルミルズの双方の強みを活かして、原料・原料油脂の共同調達を開始します。これにより高品質の原料を、安定的に購入することを目指します。
 - ・ 具体的にはパーム油、パーム核油、ヤシ油を共同で調達します。また、不二製油が運用する原料運搬船を有効活用します。
 - ・ 大豆、菜種、その他原料油脂を共同調達します。J-オイルミルズが持つ調達力を有効活用します。
 - ・ その他、双方にメリットがある原料・資材の調達案件に積極的に取り組みます。
- ② 中間原料油の相互供給
 - ・ 不二製油は、パーム油、パーム核油、ヤシ油、及びそれらのエステル交換油、分別低融点油等の加工油脂を J-オイルミルズに供給します。
 - ・ J-オイルミルズは原料油として大豆油、菜種油、また、必要に応じてその他加工油脂を不二製油に供給します。
 - ・ その他双方が強みを持つ油脂を相互に供給しあいます。
- ③ 相互の生産設備の有効活用
 - ・ 双方の生産拠点において、フライ油、マーガリン、ショートニング等の加工油脂製品の生産受委託を行います。
- ④ 物流業務の効率化
 - ・ 双方の物流ネットワークの強みを活かし、倉庫の相互利用や共同配送等により物流経費の削減を図ります。

⑤ その他 双方にメリットある取り組み

- ・ 研究開発の分野で双方の強みを活かし、弱みを補完する取り組みを行います。
- ・ 具体的には、不二製油の持つ液状のパーム油を、J-オイルミルズが強みを持つフライ油市場で有効活用するために双方で取り組みます。
- ・ 両社が所有する素材・知財（特許等）の有効利用を図ります。これによって双方において新製品の開発を積極的に推進します。

上記5つの取り組みによる期待効果のメリットを、総額として11億円と想定しております。

今回の発表以外にも検討中の具体的なテーマもあり、下記の推進委員会を通じてその内容が固まり次第、実行してまいります。

II. 今後の取り組みについて

- ① これまでの「検討委員会」を4月以降は「推進委員会」に引き継ぎ、その下に実行機関としての「部会」を設置いたします。
- ② 個別案件を優先順位付けし、スケジュールを明確にして具体化に向け促進してまいります。

III. 平成21年3月期業績への影響について

- ・ 初年度でもあり、両社の平成21年3月期の業績に与える影響は軽微であります。

以上

《本件に関するお問合せ先》

不二製油株式会社 経営企画部 広報室 坂元賢枝

(電話: 090-8657-6278、FAX: 072-463-1659、E-メール: sakamoto@hkc.fujioil.co.jp)

株式会社 J-オイルミルズ 広報・IR推進室 藤田一郎

(電話: 03-5148-7103、FAX: 03-5148-7107、E-メール: ichiro.fujita@j-oil.com)